

# えりもしゃくなげ



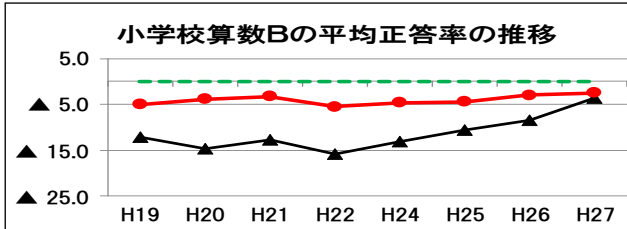
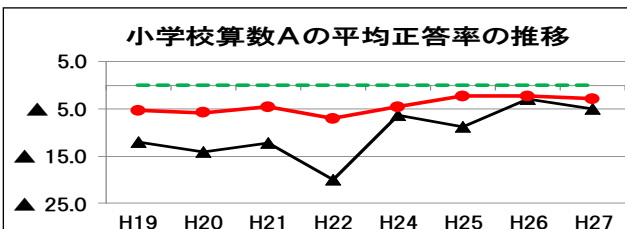
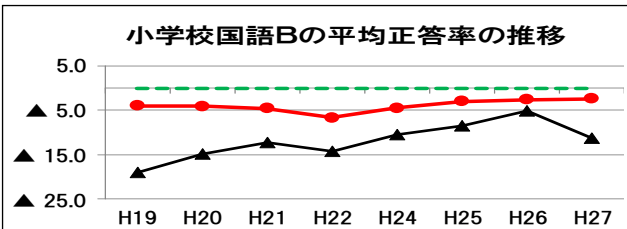
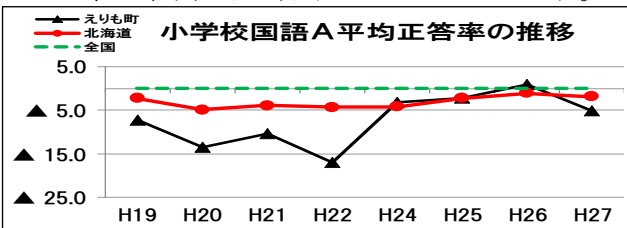
教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

**全国学力・学習状況調査で、小学校は成果大、中学校はあと一歩（27年度の結果概要については、裏面に全道公表を掲載）**

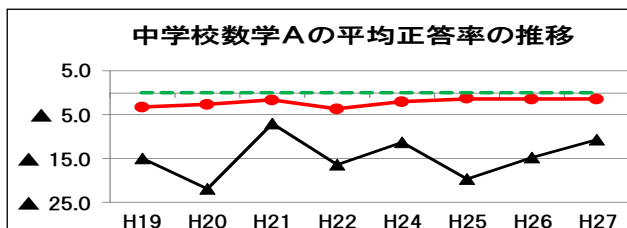
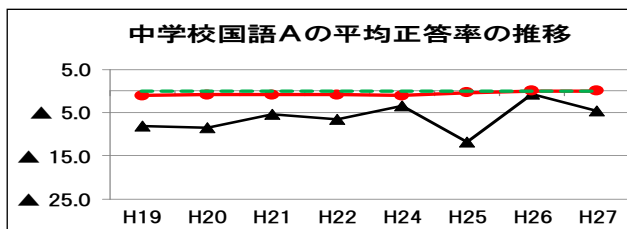
## 《学力について》 小6と中3

### ○成果

・小学校では、平成19年度からの平均正答率の推移を見ると、24年度以降、顕著に国語A・B、算数A・Bともに全国との差が縮まり、全国平均正答率に近づいています。



・中学校では、平成19年度からの平均正答率の推移を見ると、年度によって違いはあるものの、26年度から向上の跡が微増ですがうかがえます。



### ●課題と方策

- ・教育向上対策委員会で提示している、学習規律の徹底、特に立腰の徹底、ノート指導、まとめの明確化等の充実を一層図ること
- ・家庭学習の時間と学習内容の指導を一層充実すること
- ・考える授業の構築

## 《学習状況について》 小6と中3

### ○成果

・小学校、中学校ともノート指導の徹底が図られ、授業に臨む態度がしっかりとした意欲的な姿勢として現れてきています。

### ●課題と方策

- ・小学校では、「5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行ったか」では全国より低く、授業の振り返りの仕方を工夫改善する必要があります。
- ・中学校では、「普段、1日どれ位の時間、家で勉強しているか」の回答では、1時間以下の生徒が全体の51.3%で全国30.9%、全道36.8%に比べ、極めて多い状況にあります。そのため、特に家庭学習時間の不足が課題と言えます。定期的な振り返りが大切です。

えりも町では、26年度から国語と算数、数学で、小学2年生から5年生、中学1年生と2年生で「えりも町学力調査」を実施しています。

平成27年度は2年目を迎え、同じ集団の経年変化を調査しながら、手立てを講じて進めています。

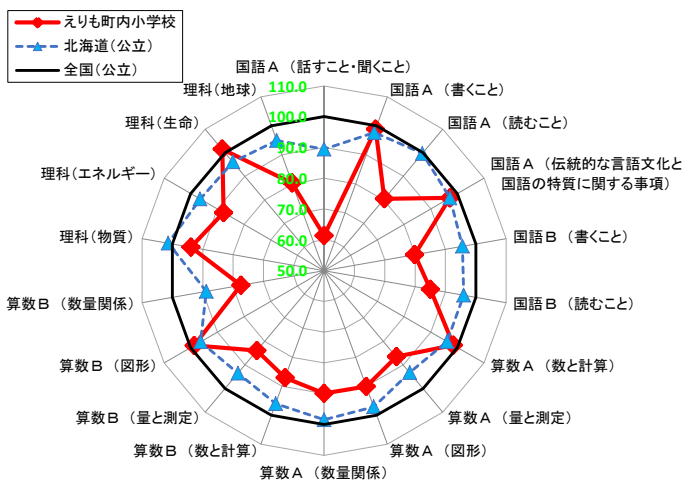
特に、全町的には、弱点となっている項目についてワースト1を決定し、4月調査後、11月までの間、弱点克服対策を各学校が行い2学期後半にその成果を見取るなどの取組を行っています。

- ・小学校2～5年生までは、個別の状況が家庭にも知らされていることと思います。
- ・それぞれの弱点の克服が必要です。特に、算数、数学は系統的な学習であり、前学年の学習内容の「学び直し」などが大切です。特に「学び直し」は、学校での放課後学習、長期休業中だけでは十分対応できないことが多く、家庭学習が大変重要になります。学校からの意向を踏まえて、学校と家庭が協力して進めるようお願いいたします。

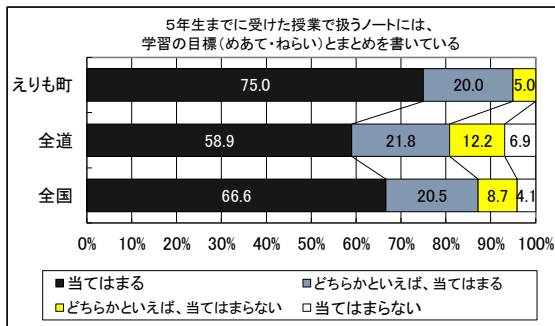
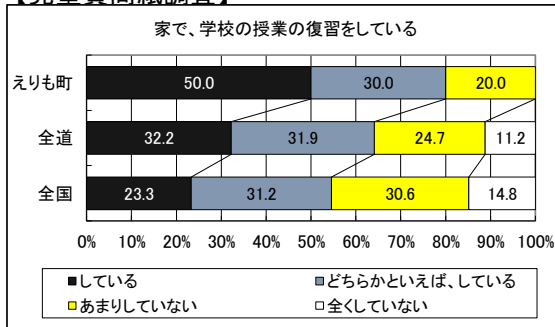
# ■えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:40名)

## 【教科全体の状況】

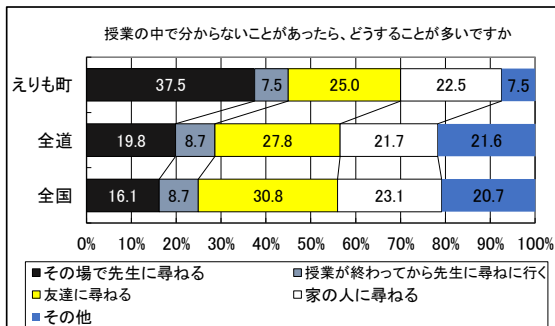
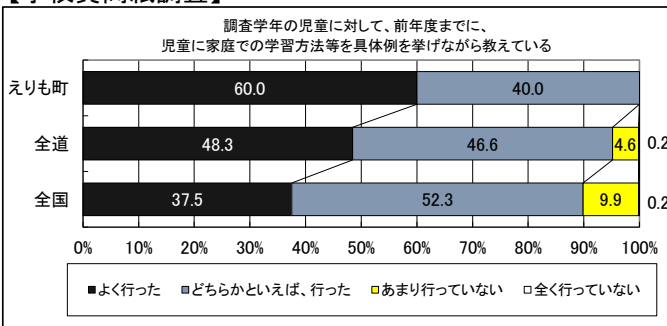
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「書くこと」で全道を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは「数と計算」、算数Bでは「図形」で全道を上回っている。</li> <li>○ 理科では「生命」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校では、授業改善を図り、基礎学力向上に取り組む姿勢が一層見られる。</li> <li>○ 児童は、授業で分からないことがあったら、先生に尋ねたり、友達に尋ねたりしている。学校が休みの日に、一層、家庭学習に取り組むことが課題といえる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家で、学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 5年生までに受けた授業で抜うノートには、学習の目標とまとめを書いていると回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねると回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均正答率は、全教科について、年々全国平均との差が縮まり、徐々に基礎学力の向上が見られるなど、「チームえりも」として教育向上対策委員会の取組の成果といえる。</li> <li>○ 「チームえりも」で小中高が一丸となって学力向上に取り組むことにより、徐々にではあるが、基礎学力の向上がうかがわれる。一層、校種間連携と家庭の協力を図り推進する。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたと回答した学校の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	

## 【えりも町の学力向上策】

- ◎ 基礎学力の定着を図る取組の強化
  - ◎ 「チームえりも」で全町を挙げた学校教育の充実
  - ◎ 教育向上対策委員会による「えりも町学力向上推進」の計画・実施・評価・改善
- 学校では数値による実態把握と到達目標、家庭学習では手引の改善と「10分×学年+10分」の推進、積極的な他校との研修の実施。特に、次の3つを重点として取り組む。
- ①10項目の学習規律の徹底
  - ②板書とノート指導の一体化
  - ③指導過程に位置付けた「定着」の段階の確実な位置付け